

新年、明けましておめでとうございます。



皆様方におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、法人運営にご理解とご支援をいただいておりますこと、改めて御礼を申し上げます。

さて、去年は、地球温暖化による異常気象の影響とも思われる集中豪雨や大型台風が発生し、和歌山市はまぬがれたものの、日本列島各地に甚大な被害が発生するなど悲しい出来事もありましたが、5月には、元号が「平成」から「令和」へ改元され、新時代の幕開けとなる年でした。

我が法人にとりまして、つわぶき授産工場の隣接地の土地の埋め立てがほぼ完了し、今後はグループホーム建設に向け取組を進めてまいります。

また、小倉園では、施設の建て替えに向け、土地を購入し埋め立てを行いました。更に、つつじが丘に二軒目のグループホームの建設を開始したことや、和歌山市から支援をいただき、綜成苑西側の、落石防護壁の設置を行っており、共に本年中には完成の予定であります。

本年も、皆様方の信頼に応えられるよう、利用者の皆様が安全に安心して施設を利用していただくため、施設の安全性の確保や支援技術の向上に日々取り組んでまいります。

特に近年、利用者の皆様方の高齢化や、それに伴い医療を必要とする方が多くなってきおり、日常の健康管理が重要になってまいります。理学療法士や看護師等の指導による機能訓練や個別健康診断を継続して実施してまいります。

更には、利用者の皆様方が楽しみと安らぎのある生活が実現できるよう、支援信条を実行しサービスの質の向上に取り組んでまいります。

また、社会福祉法人として地域福祉の向上のみならず、地域の活性化に貢献できるよう、変化する社会・経済の中で、有意義な事業活動を展開してまいります。

新しい年を迎えて、気持ちも新たに、私たち職員はより一層、知恵を出し汗を流し、障害者本人、支える家族、職員が幸せになれる社会を目指し、強い団結力を持ち「子を思う親の心」を胸に精進してまいります。

なお、一層つわぶき会・哲人会を発展させ、子どもたちのより良い未来を目指すためにも、皆様方の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。



社会福祉法人つわぶき会

社会福祉法人哲人会 理事長 岩橋 秀樹